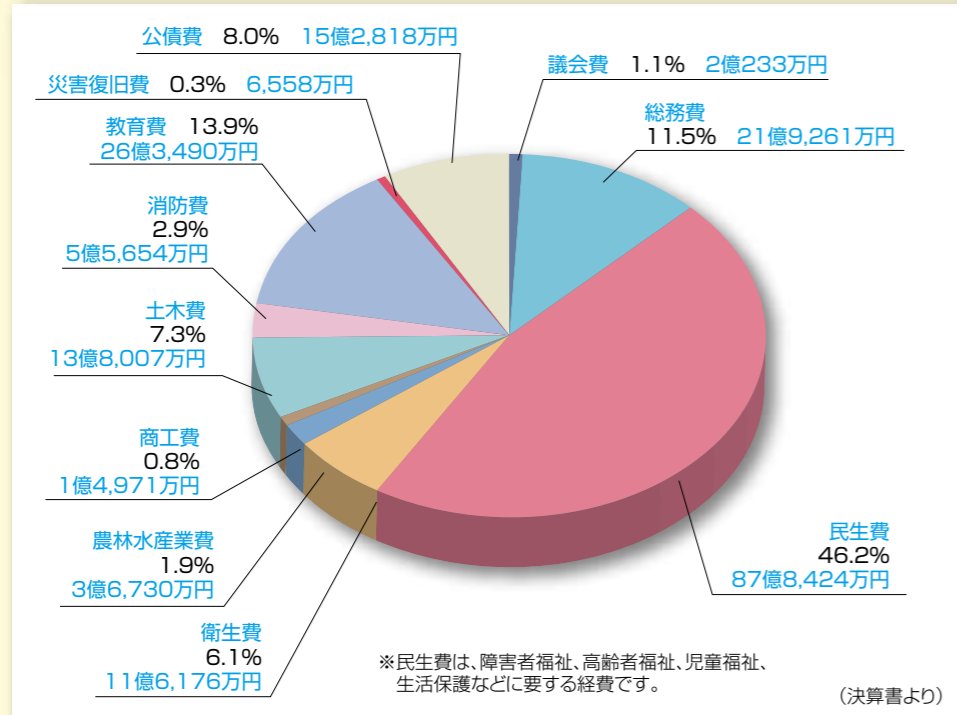


平成27年度 歳入歳出決算 を認定しました

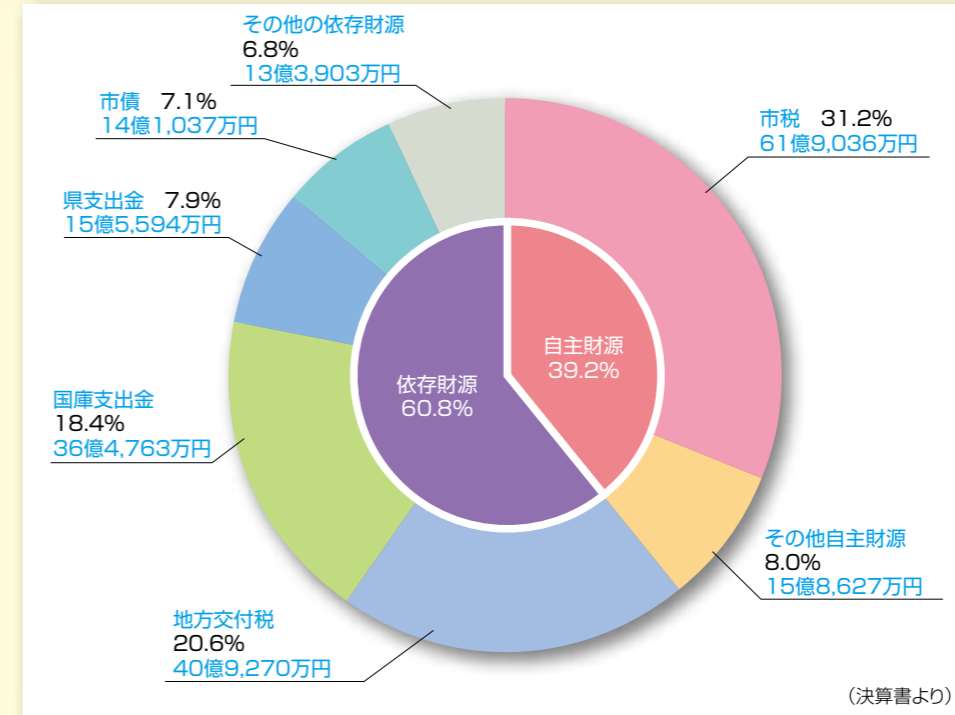
一般会計歳出 (190億2,322万円)



平成26年度に比べて2.9%減少

- ・歳出は前年度に比べて2.9%、5億6,534万円減少しています。
- ・保育所運営費負担金、児童発達支援・放課後等デイサービス給付など民生費が5億3,445万円、教育費が2億4,007万円増加しています。
- ・それに対して、公共施設整備基金積立金、土地開発基金積立金など総務費が5億3,306万円減少、商工費4億2,807万円、消防費2億5,730万円が減額となっています。

一般会計歳入 (198億2,230万円)



平成26年度に比べて3.4%減少

- ・歳入は前年度に比べて3.4%、6億9,502万円減少しています。
- ・個人市民税は微増傾向にありますが、法人市民税が3億4,282万円減少、地方交付税も4億4,193万円減少しています。

9月定例会は、8月25日(木)から9月16日(金)までの23日間の会期で開きました。
条例制定、平成28年度補正予算、平成27年度決算など市長提出議案等15件、議員提出議案3件を審査しました。ほか報告1件がありました。
議決結果は、市長提出議案等15件が原案とお

り可決・認定、議員提出議案は3件可決となりました。
一般質問は、9人が市政に関する問題を質問しました。
今定例会には、延べ68人の方々が傍聴に訪れました。

特別会計

● 国民健康保険特別会計

対前年比

歳出 73億3,102万円……116%

保険給付費は4.7%増加だが、国の制度改正により、共同事業拠出金が105.5%増加したため。

● 介護保険特別会計

対前年比

歳出 38億9,694万円……104%

● 後期高齢者医療特別会計

対前年比

歳出 4億9,432万円……100%

経常収支比率

人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税を中心とした通常的に収入される一般財源が、どの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど普通建設事業等の臨時的経費に対して余裕を持つことになり、財政構造が弾力性に富んでいることとなります。
年度ごとに増減はありますが、若干硬直化しています。

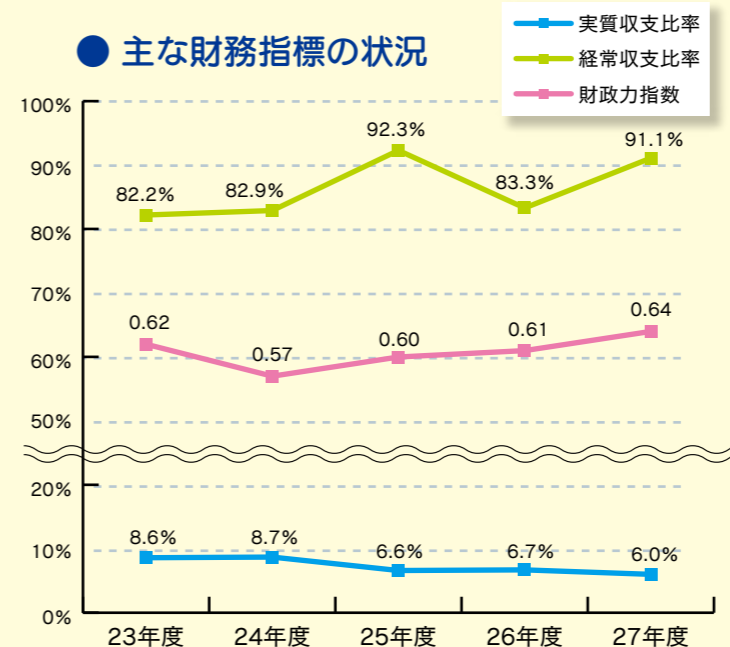
財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な一般財源に対する地方税等の収入の割合のことです。この数値が1に近く、あるいは1を超えると財源に余裕がある(自主的な適応力がある)こととなります。少しずつ改善しています。

実質収支比率

地方税や普通交付税などの通常的に収入される一般財源の額である標準財政規模に対する実質収支額(歳入歳出差引額から翌年度への繰越額を差し引いた額)の割合です。3~5%程度が適度の剰余とされています。

● 主な財務指標の状況



平成28年第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
8	25	木	本会議	市長提出議案上程及び説明
	26	金	本会議	一般質問
	29	月		
	30	火		
9	2	金	本会議	質疑、委員会付託
	5	月	常任委員会	付託事件の審査
	6	火		
7	水			
9	8	木	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)
16	金			